

第2章 分野別計画

1 こども未来

7分野のうち、未来を担う子どもたちが健やかに成長でき、また、安心して子育てができる環境の充実等により、基本構想に掲げる将来都市像や基本的な目標（重点目標）の達成を目指します。

将来都市像設定の視点の「先進的なまちをつくること」・「持続可能なまちをつくること」・「地域課題を克服した暮らしやすいまちをつくること」を実現するためには、子どもから高齢者まで多くの人が集まり、住むことで、各年代によるバランスのよい人口構成が形成・維持されることが求められます。特に、少子高齢化が進んでいる中では、直ちに出生率²⁶・出生数²⁷が向上され、年齢構成の適切なバランスが達成・維持されることは難しいことから、子ども及び子育て世代の維持・定着を図りつつ、出生率の改善につなげていくことが重要となっています。

そのためには、子ども及び子育て世代に評価される環境づくりとして、3つ掲げている基本的な目標（重点目標）の中でも、特に「充実した教育が実感」でき、「安心して産み育てられるまち」の実現に向け、学ぶ意欲と学ぶ習慣が身につく教育や環境の整備、子どもの育ちと子育てを支える環境づくりに注力します。

(1) この分野で将来目指すべき方向性

★全ての子どもが「学ぶ意欲と学ぶ習慣」を身につけるようにする

現在の子どもたちが大人となる21世紀中盤の近未来社会へ向けての「学力」を育む時、「学力」を「学んだ結果」として捉えるのではなく、「学ぶ力」と捉えることが21世紀を生き抜くための「学力」の実態に即していると考えます。この学ぶ力の根底となるものが、「学ぶ意欲と学ぶ習慣」であると捉え、柏市では、全ての子どもたちが「学ぶ意欲と学ぶ習慣」を身につけることに注力し、魅力的な学校づくりと教育環境の整備を進めます。

具体的には、「学ぶ意欲と学ぶ習慣」を育む教育内容や授業の充実を図り、それを支える人員・施設等の教育体制（人員・施設等）の整備・拡充（能力向上）に重点的に取り組みます。同時に、各学校が地域や保護者から信頼され、特色ある学校づくりを推進し自律した学校経営を行うため、地域と連携した教育活動を推進できるよう支援の充実を図ります。

★地域全体で子どもの育ちや子育てを支える環境をつくる

少子高齢化が進み、ライフスタイルの変化等により核家族化や地域のつながりの希薄化が進んでいる現状にあっては、親同士の支え合い・学び合いと子ども同士の遊びが生まれる環境づくりを進め、また、親以外の周りの人たちの参画を得る等、地域ぐるみで子どもを育て、子育てを支える環境づくりに重点的に取り組みます。

また、出産・子育てを希望する市民が、出産・子育てや子どもの成長に対する不安が解消され、前向きな気持ちで妊娠・出産・子育てに臨めるよう、各種の情報提供や相談対応、安心につながる環境づくり等、切れ目ない子育て支援に係る各種取組の充実に努めていきます。

26 【出生率】一定期間の出生数の、人口に対する割合

27 【出生数】子どもの生まれた数

(2) 目標達成に向けた主な実施手段の体系

(1)に掲げた全体的な方向性を踏まえ、基本構想に掲げる将来都市像や基本的な目標（重点目標）の達成に向けた実現手段として、具体的には次のような施策・取組・事業に注力していきます。体系図中、特に重点的に取り組むものを濃色にしています。

図表6 目標達成に向けた主な実施手段の体系（こども未来）

目指す方向性	施策	取組	事業
<p>★全ての子どもが「学ぶ意欲と学ぶ習慣」を身につけるようにする</p> <p>★地域全体で子どもの育ちや子育てを支える環境をつくる</p>	1-1. 未来を担う生きる力を備えた子どもの育成	1 学ぶ意欲と学ぶ習慣を身につける教育の推進	1 学びづくりフロンティアプロジェクトの推進 2 学びを支援する人的配置の充実 3 学校図書館を活用した調べ学習の推進 4 放課後子ども教室の充実 5 授業でのICTの利活用の推進 6 民間教育機関との連携
		2 豊かな心を育む教育の推進	1 道徳教育の充実 2 情報モラル教育の推進 3 図書館を活用した読書活動の推進 4 小中連携の推進
		3 健やかな体をつくる教育の推進	1 食育の推進（子ども健康プロジェクト） 2 薬物乱用防止教育の充実 3 いのちの教育の推進 4 体づくり、部活動充実に向けた外部連携の推進
		4 これからの時代に必要な力を培う教育の推進	1 小学校英語教育の推進 2 アクティブラーニング ²⁸ の推進 3 大学との連携
		5 支えが必要な子どもの支援の充実	1 いじめ・不登校等対策のための人的配置の強化 2 ネットトラブル防止対策の強化 3 インクルーシブ教育 ²⁹ システム構築の推進 4 教育相談の充実 5 低所得世帯への経済的支援
	1-2. より良い教育のための体制・環境の整備	1 地域と学校が一体となった教育の推進	1 学校支援地域本部事業の推進 2 学校支援ボランティア活動の活性化
		2 教師力・学校組織力の向上	1 柏市教職員人材育成指針に基づく研修体制の充実 2 学校経営力の向上 3 総合教育センター機能の充実
		3 子どもの安全の確保	1 食物アレルギー対策の強化 2 交通安全活動の推進 3 防犯活動の推進
		4 学校施設の適切な整備	1 学校の適正配置 2 学校施設の維持管理 3 学校設備・振興備品の整備 4 ICT環境の充実 5 給食施設・備品の整備
	1-3. 子どもの育ちと子育てを支える環境の充実	1 子育て・子育て・親育ちのための地域づくり	1 親子で交流できる場の充実 2 子育て支援者の育成とネットワークの拡大 3 子育て・親育ちのための学習支援 4 子育てに関する啓発活動 5 男性の家事・育児参加の推進 6 青少年健全育成団体の連携強化 7 青少年センター運営の改善
		2 幼児教育・保育関連施設の整備	1 既存幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行 2 私立認可保育園の整備 3 公立保育園の再整備 4 ニーズに応じたこどもルームの整備
		3 幼児教育・保育の質の確保・向上	1 幼稚園教諭・保育士の確保 2 幼稚園教諭・保育士の質の向上 3 運営指導の充実 4 幼保小連携の推進 5 幼児教育研究の推進
	1-4. 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細かな支援の推進	1 子どもの健やかな成長支援	1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備 2 子育て情報体制の整備 3 乳幼児の健やかな成長支援 4 要支援家庭への個別支援の充実
		2 子育て家庭の負担の軽減	1 子育て世帯の経済的負担の軽減 2 ニーズに応じた保育サービスの提供 3 子育て世帯向け期限付入居制度の導入
		3 配慮が必要な子ども及び子育て家庭への支援	1 ひとり親家庭への自立支援体制の充実 2 民間支援事業所との連携強化及び支援の検討 3 障害のある児童生徒の放課後・休日支援の充実 4 発達に課題のある子どもへの支援体制の充実 5 DV被害者の相談・支援体制の充実 6 児童虐待の防止に向けた相談・支援体制の充実

28 【アクティブラーニング】 教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、児童生徒の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称

29 【インクルーシブ教育システム】 障害者も社会に効果的に参加することを可能とするために、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み

施策 1-1 未来を担う生きる力を備えた子どもの育成

◎ 当該施策の現状分析（課題把握）

- 児童生徒の学力の状況を3段階で評定すると、優れている層が最も多いですが、次に多いのは、劣っている層であり、平均正答率に近い平均層は最も少なく、二極化の状況が見られ、学力テストの平均正答率は全国平均程度の結果となっています。
- 柏市の小・中学校生を対象にした学習アンケートでは、「学習が好きか」という問いに対して、「そう思う」と回答する割合が小学校4年生から急激に低下し、中学校2年生では50%台に落ち込む傾向となっています。
- 柏市の児童生徒が21世紀の社会で活躍するためには、学力テストで測る学力以上に、これからの時代を生きる学力として、学ぶ意欲と学ぶ習慣の定着が重要だと考え、状況を測るための指標として4つの力「Concept（見通す力）・Challenge（挑戦する力）・Communication（関わり合う力）・Control（自律する力）」を設定し、現状を分析したところ、中学生になると全ての力が達成基準を下回っていることがわかりました。また、見通す力や挑戦する力については、小学生から達成基準を下回る傾向となっていることもわかりました。
- 小中学校におけるいじめの認知件数は、年間1,000件程度となっています（H25,26年度）。いじめへの対応としては、未然防止、早期発見、早期対応に努め、毎学期のいじめアンケートの実施や教育相談、生徒指導アドバイザー³⁰による事態解決への指導を行っているところですが、事案が重篤化する前に解消するよう取組を強化していく必要があります。
- 不登校の児童生徒数は、中学校で減少傾向、小学校では横ばいで推移しています。当該児童生徒に対しては、関係各機関と連携して早期解消を目指した対応を進めているところですが、近年は複雑な家庭状況を背景にした案件も増加し、専門機関やスクールソーシャルワーカー³¹等との連携が必要になっています。

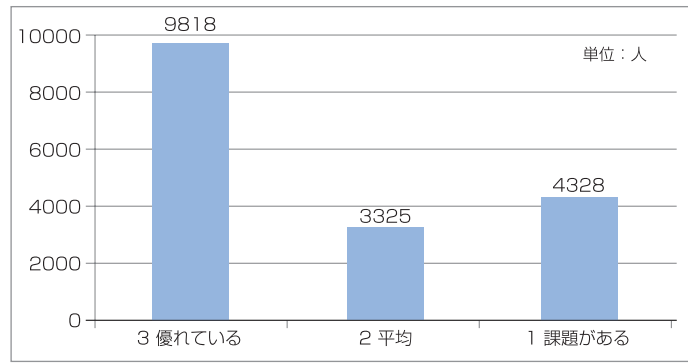
図表7 柏市の全国学力テスト平均正答率（平成27年度）（資料）指導課

	小学校					中学校				
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
全国平均正答率	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
柏市平均正答率	70.3	63.4	73.7	43.8	61.0	75.0	64.7	63.2	41.8	52.0

30 【生徒指導アドバイザー】 柏市児童虐待及びいじめ防止条例に基づき設置された非常勤特別職。困難な事例を抱えた学校を訪問し、校長及び教職員、保護者への指導助言を行う

31 【スクールソーシャルワーカー】 いじめや不登校、児童虐待等、児童生徒の置かれている状況に対して働きかけ、校内会議での提言や体制づくりの支援、児童相談所や役所等の関係機関との連携・調整を行う者

図表8 市立小学生の3段階別学力状況（平成27年度・小学校2～6年生対象）（資料）指導課

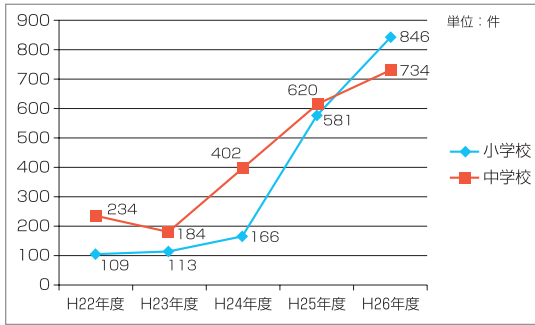


図表9 学ぶ意欲と学ぶ習慣に関する分析結果（平成26年度）（資料）指導課

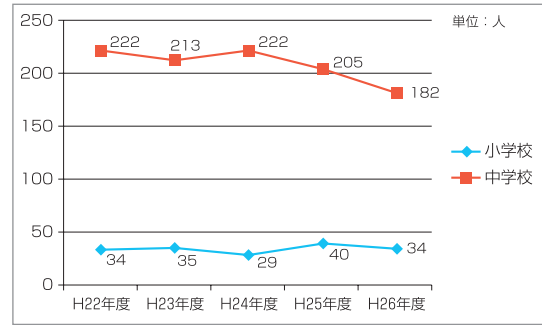
4つのC(力)		質問趣旨	基準	小学校 2～4	小学校 5・6年	中学校
コンセプト(見通す力)	意欲	将来の夢や目標をもっていますか。	3.4	3.55	3.55	3.22
		物事に取り組む時、計画を立てて取り組んでいますか。		2.85	2.95	2.77
		物事が計画的に進まない時、計画の見直しをしていますか。		3.12	2.77	2.53
		地域・社会で起こっているできごとやニュースに関心がありますか。		3.38	3.27	3.15
		学校で学んだことを、地域や社会のために役立てたいと思いますか。		3.21	3.16	3.02
	習慣	めあてや学習課題を意識して授業に参加していますか。	3.4	2.92	3.24	2.95
		課題に対して予想を立てて勉強していますか。		3.05	3.11	2.75
		課題を解決するために、本やコンピュータなどを活用していますか。		3.11	2.98	3.01
		わからないことがあった時、人に聞いたり自分で調べたりしていますか。		3.39	3.46	3.40
		物事に取り組んだ時、まとめや振り返りをしていますか。		2.91	3.00	2.75
チャレンジ(挑戦する力)	意欲	物事に取り組む時、目標を立てて取り組んでいますか。	3.4	3.24	3.04	2.92
		学習して、新しいことを知ったり、身につけたりすることはうれいですか。		3.54	3.44	3.25
		難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。		3.33	3.07	2.85
		困難に直面しても、あきらめずにいろいろな方法を考えていますか。		3.17	3.08	2.96
		友だちから認められてうれしかったことはありますか。		3.54	3.47	3.47
	習慣	夢や目標に近づくために努力していますか。	3.4	3.31	3.24	2.95
		ノートの取り方について、自分なりの工夫をしていますか。		3.08	3.19	3.18
		テストでまちがえた問題は、後でやり直していますか。		3.51	3.26	2.89
		学校で学んだことを、普段の生活に生かそうと考えていますか。		3.13	3.23	3.04
		進んで本を読んでいますか。		3.20	3.06	2.93
コミュニケーション(関わり合う力)	意欲	地域の行事やボランティア活動に参加しようと思いますか。	3.4	2.81	2.91	2.64
		人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか。		3.58	3.63	3.64
		話し合いをする時、相手の考えをしっかりと聞きたいと思いますか。		3.52	3.39	3.30
		自分から先にあいさつすることをこころがけていますか。		3.35	3.50	3.40
		話し合いをする時、自分の意見を積極的に発言しようと思いますか。		3.11	2.91	2.79
	習慣	家の人と学校のできごとについて話をしていますか。	3.4	3.29	3.38	3.19
		先生や友だちの話をよく聞いていますか。		3.53	3.48	3.37
		普段の生活の中で、相手の立場を考えて行動していますか。		3.30	3.16	3.15
		友達になりたいと思った時、自分から声をかけていますか。		3.21	3.20	3.06
		先生や友だちに伝えたいことをうまく伝えることはできますか。		3.00	3.08	3.07
リントロール(自律する力・生活力)	意欲	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	3.4	3.52	3.66	3.57
		自分に良いところがあると思いますか。		3.14	3.07	2.77
		集中して授業に取り組んでいますか。		3.47	3.38	3.27
		学校生活で打ち込めるもの、がんばっていることはありますか。		3.47	3.35	3.29
		体を動かすこと(運動・スポーツ、外遊びなど)は好きですか。		3.67	3.50	3.29
	習慣	学校の規則やクラスで決めたことを守っていますか。	3.4	3.51	3.36	3.36
		宿題や課題をきちんとやっていますか。		3.72	3.66	3.42
		自分が悪かったと思う時は、素直に謝っていますか。		3.47	3.34	3.32
		体育の授業以外に、積極的に体を動かしていますか。		3.52	3.34	3.15
		毎日同じくらいの時刻に寝て、朝は自分で起きていますか。		3.02	3.05	2.95

(色塗り部分は基準値を下回っていることを示す)

図表10 いじめの認知件数の推移
(資料) 指導課



図表11 不登校児童生徒数の推移
(資料) 指導課



🌀 施策の実現によって目指す市の姿 (施策の方針)

授業の目的が教師と子どもたちで共有化されていて、子どもたちが集中して授業に取り組み、落ち着いた学習が展開され、難しい課題でもやり抜こうとする気持ちが育まれています。

また、子どもたちは、自ら課題を見つけ、学校図書館やICTを活用してさらに深く広く学習する中で、自ら学ぶ姿勢が身についています。心身ともに健やかに育つ子どもたちが自己実現を目指し、子どもたち同士が教え合い学び合う協働的な活動がすべての学校で展開されています。

これらの学習活動等を通して、柏の子どもたちは学ぶ意欲と学ぶ習慣が身につく、学力の向上とともに二極化の解消も図られ、結果として生きる力の育成につながっています。

🎯 施策実現のため、重点的に推進する取組

1 学ぶ意欲と学ぶ習慣を身につける教育の推進

取組内容	市立小中学校の児童生徒が 21世紀の社会で活躍する人材として、どんな時にも発揮できる学ぶ意欲と学ぶ習慣を身につけるため、学習を支援する人的配置等の充実や、質の高い学びづくりに取り組みます。
重点事業 (実現手段)	<ul style="list-style-type: none"> 1 学びづくりフロンティアプロジェクト³²の推進 (44ページ) 2 学びを支援する人員配置の充実 (44ページ) 3 学校図書館を活用した調べ学習の推進 (45ページ) 4 放課後子ども教室³³の充実 (45ページ) 5 授業でのICTの利活用の推進 (46ページ)

32 【学びづくりフロンティアプロジェクト】 柏市教育委員会が取り組む授業改善企画の名称。児童生徒の学ぶ意欲と学ぶ習慣を育むために、学校の状況に応じ、柏市独自の教職員を配置する等の特色ある取組を行う

33 【放課後子ども教室】 小学校の特別教室等を活用し、放課後の子どもたちに「学びの場」を提供する事業

5 支えが必要な子どもの支援の充実

取組内容	全ての子どもたちが落ち着いた学習環境で学べるよう、一人ひとりの困り感や教育的ニーズを把握し、学校の状況に応じ、学習支援や生徒指導支援のための人材を派遣する等適切な支援を行います。
重点事業 (実現手段)	1 いじめ・不登校等対策のための人的配置の強化（47ページ）

● その他の取組

取組名	2 豊かな心を育む教育の推進 3 健やかな体をつくる教育の推進 4 これからの時代に必要な力を培う教育の推進
-----	--

● 関連する部門計画

計画名	関連する取組
柏市教育振興計画	1・2・3・4・5
柏市こども読書活動推進計画	1・2
柏市学力向上プラン	1・2・3・4・5

● 進捗を測る指標

取組	指標	基準値	目指す方向性	備考
1	学ぶ意欲と学ぶ習慣の測定値	小学校 3.26 中学校 3.1 (平成27年度値)	↗	児童生徒を対象に調査する4つの力「Concept(見通す力)・Challenge(挑戦する力)・Communication(関わり合う力)・Control(自律する力)」から、学ぶ意欲と学ぶ習慣に係る部分を測定。
5	いじめの認知件数に対する解消率	94.4% (平成27年度値)	↗	
5	不登校の児童生徒数	平成27年度値	↘	

取組1の重点事業の概要

1 学びづくりフロンティアプロジェクトの推進

担当課	指導課					
事業内容	教職員の実践意欲と学校経営力を高め、児童生徒の学ぶ意欲と学ぶ習慣を身につけられるよう、学習環境の整備とともに、有識者・民間企業等との協働や関係部署の協力による魅力的な学びづくり、授業の改善を図ります。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	プロジェクト中学校区の指定	3中学校区で実施	5中学校区で実施	5中学校区で実施	6中学校区で実施	6中学校区で実施
	学びづくり推進委員会 ³⁴ による授業づくり	5つの授業モデルを実施	5つの授業モデルを実施	5つの授業モデルを実施	5つの授業モデルを実施	5つの授業モデルを実施
備考	プロジェクトは3か年の時限で実施し、第五次総合計画期間中に全ての学校区を対象に実施する。					

2 学びを支援する人的配置の充実

担当課	教職員課，指導課，教育研究所					
事業内容	自ら課題を持ち、自ら調べ、課題解決を図る力（21世紀型学力）を育成するため、各教科にに応じて、授業を支える人材を派遣し、授業方法の多様化と授業内容の充実を図ります。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	サポート教員 ³⁵ の配置	69人	77人	77人	77人	78人
	学校図書館指導員 ³⁶ の配置	62人 (週4日)	62人 (週5日)	63人 (週5日)	63人 (週5日)	63人 (週5日)
	理科支援員 ³⁷ の配置	62人 (週18時間)	62人 (週24時間)	63人 (週24時間)	63人 (週24時間)	63人 (週24時間)
	教育支援員 ³⁸ の通常学級への配置	7人 (週4日)	16人 (週4日)	23人 (週4日)	32人 (週4日)	42人 (週4日)
備考	教育支援員の通常学級への配置は、低学年を中心として学習支援及び生活習慣の定着を図るものとする。					

34 【学びづくり推進委員会】 学ぶ意欲と学ぶ習慣を育むことを目的とした授業改善の方向性を検討し、授業づくりを推進するための組織

35 【サポート教員】 学習指導の工夫改善に資するよう柏市が独自に配置する教員。習熟度別指導やテーマ別指導等、少人数によるきめ細やかな指導を実現するために配置している

36 【学校図書館指導員】 学校図書館法に定める学校司書を担い、学校図書館に常駐し、授業で活用する本を揃えたり、調べ学習や読書活動の推進を支援する者

37 【理科支援員】 理科に親しみ、力を付けるべく魅力的な授業とするため、実験観察の準備や環境整備等の支援を行う者

38 【教育支援員】 市内小中学校において、特別な支援を必要とする児童生徒の生活及び学習の支援を行う。また、必要に応じて通常の学級に在籍する児童生徒にも部分的な支援を行う者

3 学校図書館を活用した調べ学習の推進

担当課	指導課					
事業内容	子どもたち一人ひとりが課題を持ち、その課題に対して意欲的に調べ、納得のいく課題解決を図る力を育成するため、学校図書館の効果的活用を推進し、指導員の配置とともに、教職員の授業構想力を支援するための学校図書館コーディネーター・アドバイザーの派遣や図書館業務の効率化を図ります。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	学校図書館コーディネーター ³⁹ の配置	1人	1人	1人	1人	1人
	学校図書館アドバイザー ⁴⁰ の配置	1人	2人	3人	4人	5人
	蔵書管理・貸出業務の電算化		タブレット4台導入			
備考						

4 放課後子ども教室の充実

担当課	生涯学習課，学童保育課					
事業内容	放課後や週末における子どもの居場所づくりとともに、学習意欲の向上と学習習慣の定着化を図るため、学校施設を活用した放課後や週末の学習活動を提供します。また、柏市放課後子ども総合プラン ⁴¹ に基づいた放課後児童クラブ（こどもルーム） ⁴² との一体型を進めます。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	実施校数（小学校）	32校	39校	42校	42校	42校
	一体型実施校数	32校	39校	41校	41校	41校
備考						

39 【学校図書館コーディネーター】学校図書館を活用した教育や授業を推進するために、学校管理職や教職員に対して指導助言をする者

40 【学校図書館アドバイザー】学校図書館を授業で活用するために、司書教諭や学校図書館指導員に対して、選書や環境づくりについて指導助言をする者

41 【柏市放課後子ども総合プラン】全ての児童生徒の放課後対策をこどもルームと放課後子ども教室が協力して進める、次世代育成支援対策推進法に基づいた計画

42 【放課後児童クラブ（こどもルーム）】小学生を対象に、共働き等の保護者に代わって、適切な遊びや生活の場を用意し、児童の健全な育成を図る事業

5 授業でのICTの利活用の推進

担当課	指導課，教育研究所					
事業内容	子どもたち一人ひとりの学ぶ意欲を喚起するため，新たな学びを創造するICTの環境を整備し，授業での効果的な活用を推進します。また，情報リテラシー ⁴³ の育成と情報モラルの充実を図るため，IT教育支援アドバイザーによる授業支援を行います。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	ICT教育機器リプレイス ⁴⁴ （教育用）		27校	10校	15校	11校
	ICT教育機器リプレイス（学校サーバ）			62校		
	校内LAN更新	32校	30校			
	IT教育支援アドバイザー ⁴⁵ の派遣	8人	9人	9人	10人	10人
備考	平成29年度 ICT教育機器リプレイスには，新設中学校を含む。					

43 【情報リテラシー】 情報を理解及び活用する力，情報社会に参画する姿勢等のこと

44 【リプレイス】 コンピュータやシステム等を，新しいものや同等の機能を持つ別のものに置き換えること

45 【IT教育支援アドバイザー】 各学校又は教員の求めに応じ，インターネットやコンピュータを活用した授業や研修，教材作成等について支援を行う者

取組5の重点事業の概要

1 いじめ・不登校等対策のための人的配置の強化

担当課	指導課，生徒指導室					
事業内容	複雑化・多様化する生徒指導上の問題に対応し，落ち着いた学習環境をつくるため，きめ細かい生徒指導ができるよう各課題に応じた教職員を配置します。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	生徒指導アドバイザーの配置	小学校3人 中学校3人	小学校3人 中学校3人	小学校3人 中学校3人	小学校3人 中学校3人	小学校3人 中学校3人
	スクールサポーター ⁴⁶ の配置	6人	6人	6人	6人	6人
	スクールソーシャルワーカーの配置	きぼうの園・学習相談室に計2人配置	きぼうの園・学習相談室(3室)に各1人 計4人	きぼうの園・学習相談室(3室)に各1人 計4人	きぼうの園・学習相談室(3室)に各1人 計4人	きぼうの園・学習相談室(3室)に各1人 計4人
	いきいきとした学校生活を送るためのアンケート調査	4,000人対象	8,000人対象	8,000人対象	8,000人対象	10,000人対象
備考						

46 【スクールサポーター】 柏市児童虐待及びいじめ防止条例に基づき設置された非常勤特別職。反社会的な行動をとる児童生徒がいる学校の混乱を防止し，秩序を保つために，校長・教職員への助言と，児童生徒への指導を行う

施策 1-2 より良い教育のための体制・環境の整備

◎ 当該施策の現状分析（課題把握）

- 社会が複雑多様化し、子どもを取り巻く環境も大きく変化し、家庭や地域の教育力が低下していると言われる中で、学校に対して多くの役割が求められています。
- 近年、教育環境は大きく変化していて、子どもたちの学力等に対する保護者の価値観の多様化、地域社会の変化、教職員の大量退職に伴う急激な世代交代による学校を支える基盤の脆弱化への懸念やいじめ問題への対応等、様々な課題が学校現場に投げかけられています。
- 小学校や中学校では、一定の児童生徒数及び学級数が確保されている集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことが重要です。しかし、一部の地域では、極端な大規模校化や小規模校化が進み、教育環境に差が発生しており、今後改善することが重要な課題となっています。

図表12 小・中学校の学級数とクラス平均人数（平成27年度） （資料）学校企画室

小学校								中学校			
学校名	児童数	学級数	学級平均	学校名	児童数	学級数	学級平均	学校名	児童数	学級数	学級平均
柏一小	695	21	33	増尾西小	530	18	29	柏中	536	16	34
柏二小	675	21	32	逆井小	401	13	31	柏二中	800	22	37
柏三小	886	27	33	富勢東小	103	6	17	土中	257	9	29
柏四小	740	23	32	豊小	624	19	33	富勢中	632	18	36
柏五小	942	27	35	酒井根東小	539	18	30	田中中	469	14	34
柏六小	317	12	26	旭東小	322	12	27	光ヶ丘中	569	16	36
光小	740	24	31	松葉一小	546	18	30	柏三中	343	11	32
土小	372	13	29	花野井小	270	12	23	柏四中	390	12	33
富勢小	762	23	33	松葉二小	669	21	32	南部中	447	12	38
田中小	680	21	32	富勢西小	178	7	25	柏五中	565	16	36
田中北小	138	6	23	十余二小	535	18	30	酒井根中	683	20	35
土南部小	712	23	31	風早南小	289	12	24	西原中	552	16	35
柏七小	562	18	31	風早北小	839	26	32	逆井中	517	15	35
柏八小	572	19	30	手賀西小	165	7	24	松葉中	603	16	38
酒井根小	635	19	33	手賀東小	48	5	10	中原中	517	15	35
西原小	619	20	31	高柳小	729	21	35	豊四季中	679	19	36
旭小	605	19	32	大津一小	350	12	29	風早中	330	10	33
藤心小	486	17	29	大津二小	375	13	29	手賀中	82	3	28
中原小	766	24	32	高柳西小	424	13	33	大津ヶ丘中	491	14	36
酒井根西小	285	12	24	柏の葉小	531	18	30	高柳中	560	17	33
高田小	598	19	31	合計	21,525	708	30	合計	10,022	291	35
名戸ヶ谷小	271	11	25								

🌀 施策の実現によって目指す市の姿（施策の方針）

学校支援地域本部⁴⁷を核として、学校・家庭・地域が一体となった体制が整っていて、学校教育支援活動を通じ、地域ぐるみで子どもを育てる活動が充実しています。また、教職員は、研修等により指導力が高まってきています。そして、子どもの教育にとって、より良い体制や環境が整備されています。

● 施策実現のため、重点的に推進する取組

1 地域と学校が一体となった教育の推進

取組内容	全ての市立小中学校が、地域の特色を生かし、学校の教育課題解決に向け一丸となって取り組むため、地域と学校が一体となって教育を推進する仕組みを構築します。
重点事業 (実現手段)	1 学校支援地域本部事業の推進（50ページ） 2 学校支援ボランティア ⁴⁸ 活動の活性化（51ページ）

2 教師力・学校組織力の向上

取組内容	市立小中学校の教職員が、多様な課題に適切に対応し、教育の質を高め、子どもたちが学ぶ意欲と学ぶ習慣を形成できるよう、経験年数や職層に応じて教職員の能力を高めながら、安定した学校を運営する組織を構築します。
重点事業 (実現手段)	1 柏市教職員人材育成指針に基づく研修体制の充実（51ページ）

● その他の取組

取組名	3 子どもの安全の確保 4 学校施設の適切な整備
-----	-----------------------------

● 関連する部門計画

計画名	関連する取組
柏市教育振興計画	1・2・3・4
柏市学力向上プラン	1・2・3

47 【学校支援地域本部】 学校、家庭、地域の相互連携により児童生徒を育てられるよう各学校に設置されるもの

48 【学校支援ボランティア】 学校教育活動に地域の教育力を活かすため、保護者や地域人材、団体、企業等がボランティアとして学校を支援する活動

● 進捗を測る指標

取組	指標	基準値	目指す方向性	備考
1	地域人材による学校支援度	平成27年度値	↗	地域人材を活用した教育活動数の前年度比と、学校支援コーディネーターへのアンケート調査結果について数値化したものを総合的に評価する。
2	教師の指導力を測る指標	平成28年度に設定予定		

🌱 取組1の重点事業の概要

1 学校支援地域本部事業の推進

担当課	指導課					
事業内容	学校の経営方針を地域と共有し、各地域の特色を活かした学校づくりを行うため、全ての小中学校に学校支援地域本部を設置します。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	学校支援コーディネーター ⁴⁹ の設置	55校	60校	63校	63校	63校
	学校支援コーディネーター連絡協議会 ⁵⁰ の開催	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回
	学校支援ボランティア会議の推進	年1回 中学校区毎	年2回 中学校区毎	年2回 中学校区毎	年3回 中学校区毎	年3回 中学校区毎
備考						

49 【学校支援コーディネーター】教育を核とした新しい地域コミュニティを構築するため、地域と学校をつなぐ連絡調整役を担う者

50 【学校支援コーディネーター連絡協議会】 柏市内の学校支援コーディネーターの情報交換及び協議を行う会議

2 学校支援ボランティア活動の活性化

担当課	指導課					
事業内容	学校支援ボランティアとともに各地域の特色を活かした学校づくりを行うため、学校関係者と学校支援ボランティアが学校づくりについて話し合う場を開催する等、学校支援ボランティア活動の活性化を行います。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	学校支援ボランティア会議の推進	年1回 中学校区毎	年2回 中学校区毎	年2回 中学校区毎	年3回 中学校区毎	年3回 中学校区毎
備考						

取組2の重点事業の概要

1 柏市教職員人材育成指針に基づく研修体制の充実

担当課	教職員課，学校保健課，指導課，教育研究所					
事業内容	教職員としての資質（教育愛・使命感・責任感・向上心・研修意欲・同僚性），教職員としての専門性（生徒指導力・授業力・組織経営力・連携・協働力）を身につけるため、柏市教職員の実態に即し、効果的な独自の研修を導入します。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	基本研修（経験者研修）	11講座	11講座	11講座	11講座	11講座
	専門研修	46講座	46講座	46講座	46講座	46講座
	特別研修	12講座	12講座	12講座	12講座	12講座
	キャリアアップ研修	10講座	10講座	10講座	10講座	10講座
	免許状更新講習	50人	100人	100人	100人	100人
	大学院研修	5人	5人	5人	5人	5人
備考						

施策 1-3 子どもの育ちと子育てを支える環境の充実

◎ 当該施策の現状分析（課題把握）

- 少子高齢化や核家族化，地域のつながりの希薄化が進む中で，子どもたちの遊びの機会の減少や子育ての孤立化，子育てに対する不安や負担が課題となっています。
- 今後，生産年齢人口の割合が減っていきますが，このことは，子どもや高齢者等地域との関わりが強い世代の割合が大きくなるということであり，これまでも増して地域の重要性が高まっていくといえます。
- 就学前児童の保護者が「子育てを行う上で必要と思われること」として，「子どもの遊び場」や「親子が気軽に立ち寄れる場所」が多く挙げられていて，子どもの育ちや子育てを支える地域環境の充実が求められています。
- 社会環境の変化の中で，子育てという営みを個々の家庭の責任にとどめるのではなく，社会全体で支えていくことが求められています。子育てを社会全体で支えるためには，地域社会の理解・協力がさらに進み，様々な支援の輪が広がることが必要です。
- 地域社会には，学校や家庭だけでは経験できないことがあり，また，世代を超えた多くの人たちとのつながりがあります。多様な人材の宝庫である地域社会による，子どもたちの健全な育成に向けた支援がこれまで以上に重要になっています。
- 柏市の就学前児童数は，平成23年4月1日時点の22,165人をピークに微減傾向となっていますが，女性の就業率の上昇や就労形態の変化，育児休業制度の普及等により，出産後も認可保育園⁵¹等を利用して就労の継続を希望する人が増えています。
- つくばエクスプレス沿線をはじめとする住宅整備に加え，若い世代の新たな居住や子育て世帯の就労希望の増加等もあり，保育需要は増加傾向が続いています。
- 平成25年7月に「緊急対策 柏市待機児童解消アクションプラン⁵²」を策定し，平成25・26年度の2か年に集中して幼保連携型認定こども園⁵³や私立認可保育園等の整備を進めてきた結果，4月1日時点の国基準の待機児童⁵⁴数は，平成25年度117人から平成26年度39人と減少し，平成27年度は0人となりました。ただし，平成27年4月に

51 【認可保育園】 保育を必要とする乳児・幼児を保護者のもとから日々通わせて保育を行うことを目的とする施設で，認可に必要な児童福祉施設最低基準等を満たしたもの

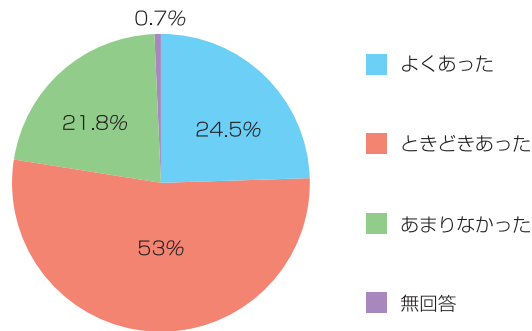
52 【緊急対策 柏市待機児童解消アクションプラン】 平成27年4月1日時点での国基準の待機児童数をゼロにすることを目標として平成25年7月に策定した，待機児童解消に向けた緊急的対策をまとめた計画

53 【幼保連携型認定こども園】 幼稚園と保育園両方の特長を併せ持ち，教育・保育を一体的に行う施設。保護者が働いている，いないに関わらず利用でき，保護者の就労状況が変化した場合でも，通い慣れた施設を継続して利用することができる

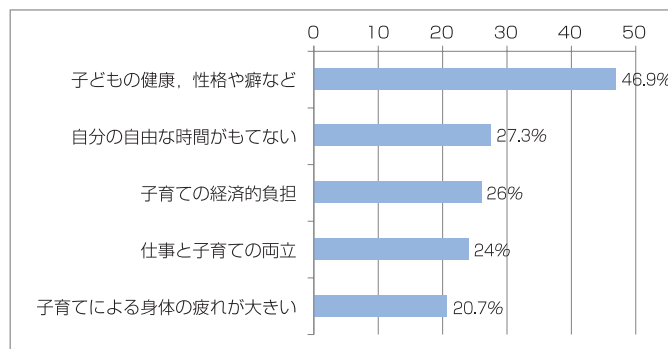
54 【国基準の待機児童】 入園保留者のうち，特定の保育園のみを希望している者や，柏市が独自に認定している保育施設で保育されている者を除いた者

認可保育園等への入園を希望しながら保留となっている児童は41人いて入園保留者⁵⁵の解消には至っておらず、平成27年3月に「柏市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、引き続き整備を進めています。

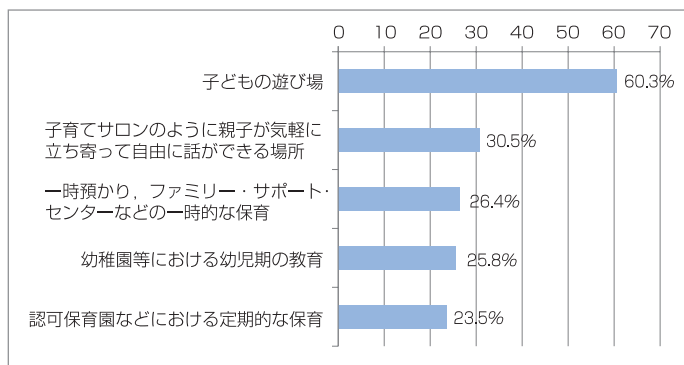
図表13 子育てにおける心配や悩みの有無（平成25年度調査）（資料）子育て支援課



図表14 子育てにおける心配や悩みの主な種類（平成25年度調査）（資料）子育て支援課

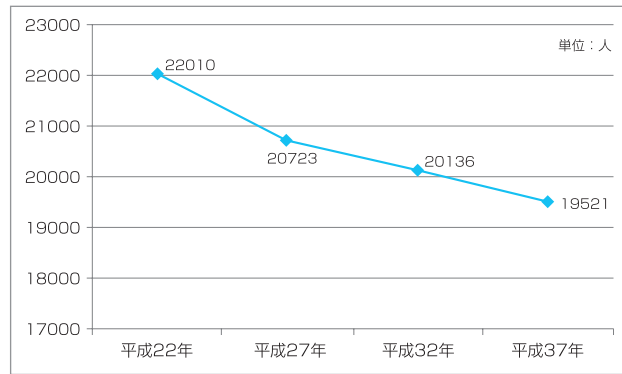


図表15 子育てを行う上で必要と思うこと（平成25年度調査）（資料）子育て支援課

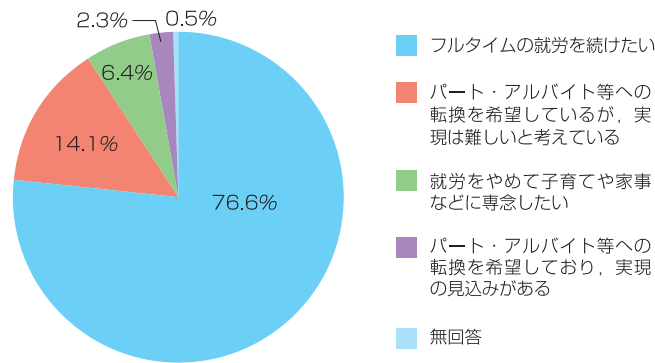


55 【入園保留者】認可保育園等への入園申請がなされており入園条件を満たしているにもかかわらず、認可保育園等に入園できない状態にある児童

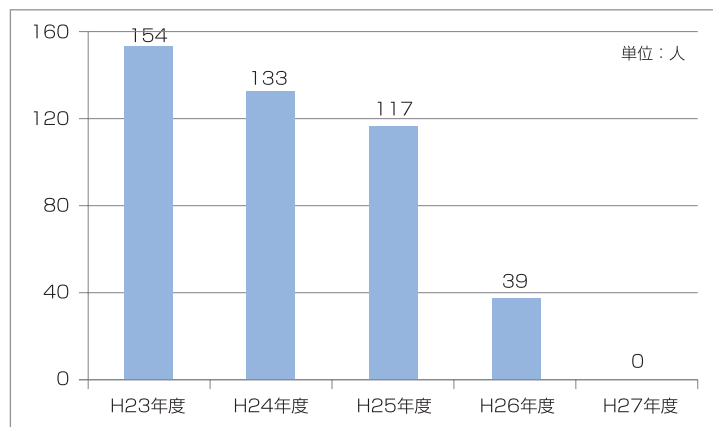
図表16 就学前（0～5歳）児童数の見通し （資料）企画調整課



図表17 フルタイムで働いている母親の就労希望（平成25年度調査） （資料）子育て支援課



図表18 国基準の待機児童数（各年度4月1日現在）の推移 （資料）保育運営課



🌀 施策の実現によって目指す市の姿（施策の方針）

子ども同士が健やかに育ち合い、また、保護者同士が支え合いながら子育てができるような場の整備と、より多くの市民の理解・協力と横のつながりのもとで子どもの育ちと子育てを地域全体で支えられ、就労を希望する人も安心して働けるようになっていきます。

また、幼児の教育・保育に携わる保育者が確保されていて、研修機会にも恵まれて、保育者の意欲と能力が高められています。教育・保育施設では、家庭と連携して、子どもの健全な心身の発達を図り、人格形成の基礎を培う活動がいきいきと展開され、その後の学校教育への基盤づくりが行われています。

● 施策実現のため、重点的に推進する取組

1 子育て・子育て・親育ちのための地域づくり

取組内容	地域で、子育て家庭が孤立せず、前向きに子育てにあたることができ、また、子ども同士が育ち合うことができるよう、子どもに関する様々な社会資源の育成・充実や、相互のネットワークづくり等に取り組めます。
重点事業 (実現手段)	1 親子で交流できる場の充実（56ページ） 2 子育て支援者の育成とネットワークの拡大（56ページ） 3 子育て・親育ちのための学習支援（57ページ）

2 幼児教育・保育関連施設の整備

取組内容	安心して子どもを育てる、子どもが育つ環境となるため、既存幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行と私立認可保育園の整備を進めます。
重点事業 (実現手段)	1 既存幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行（57ページ） 2 私立認可保育園の整備（57ページ）

● その他の取組

取組名	3 幼児教育・保育の質の確保・向上
-----	-------------------

● 関連する部門計画

計画名	関連する取組
柏市子ども・子育て支援事業計画	1・2・3
柏市生涯学習推進計画	1
柏市ひとり親家庭等自立促進計画	1・2・3
柏市男女共同参画推進計画	1
柏市教育振興計画	3

● 進捗を測る指標

取組	指標	基準値	目指す方向性	備考
1	子育て仲間の有無	16.9% (平成25年度)	↓	子育て仲間が「いない」と回答した割合を測るもの(対象：就学前児童の保護者)。
2	認可保育園等の入園保留者数	41人 (平成27年4月1日値)	↓	平成27年4月1日時点の国基準の待機児童数は0人。

🌸 取組1の重点事業の概要

1 親子で交流できる場の充実

担当課	子育て支援課, 保育運営課					
事業内容	子育ての当事者である乳幼児の保護者同士が支え合い, 子ども同士も育ち合う関係をつくることのできるよう, 親子が出会い, 交流できる場を充実させます。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	地域子育て支援拠点事業の実施	22か所	22か所	24か所	24か所	24か所
	拠点職員の合同研修会等の実施	実施	実施	実施	実施	実施
備考						

2 子育て支援者の育成とネットワークの拡大

担当課	子育て支援課					
事業内容	地域における子ども・子育て支援の質の向上と横の連携による基盤強化のため, 子育て支援者・団体の育成やネットワークづくりに取り組みます。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	支援団体のネットワークづくり	ネットワーク組織の立ち上げ	ネットワーク運営	ネットワーク運営	ネットワーク運営	ネットワーク運営
	支援者の育成	団体等の運営支援, 支援者の研修	団体等の運営支援, 支援者の研修	団体等の運営支援, 支援者の研修	団体等の運営支援, 支援者の研修	団体等の運営支援, 支援者の研修
備考						

3 子育て・親育ちのための学習支援

担当課	生涯学習課，中央公民館					
事業内容	楽しく安心して子育てができるよう，家庭教育の支援や，子育ての不安解消につながる講演会や講座を実施します。					
5年間の ロード マップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	みんなの子育てひろば ⁵⁶ の実施	28校	35校	42校	42校	42校
	家庭教育講演会，子育て支援講座等	実施	実施	実施	実施	実施
備考						

取組2の重点事業の概要

- 1 既存幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行
- 2 私立認可保育園の整備

担当課	保育整備課					
事業内容	入園保留者のさらなる減少を図るため，既存幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行と私立認可保育園の整備を進めます。					
5年間の ロード マップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	既存幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行	保育定員 約450人 増	保育定員 約270人 増	保育定員 約180人 増	保育需要 に応じ整 備	保育需要 に応じ整 備
	私立認可保育園の整備					
備考	当該2事業については，規模（定員数）を一体のものとして推進します。					

56 【みんなの子育てひろば】子育て中の保護者が情報交換を通じて，仲間づくりや不安・悩みの解消ができるよう開催される話し合い等の場。保護者が主体となり，学校・地域の協力を得て自主的に企画・運営されている

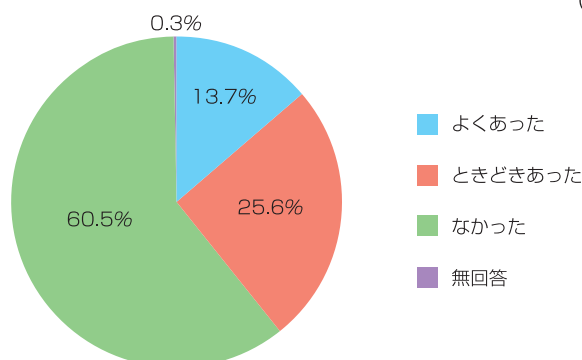
施策 1-4 子ども及び家庭の状況に応じたきめ細かな支援の推進

◎ 当該施策の現状分析（課題把握）

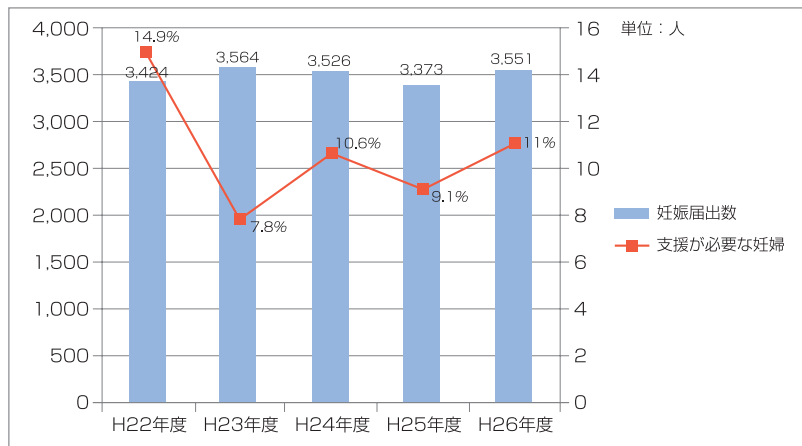
- 就学前の子どもを育てている保護者の6割超が、自分の子どもが生まれる以前に、他の小さい子どもに日常的に触れ合ったり、おむつを替えたりした経験が「なかった」と回答しています。また、「なかった」場合、子育て前に想像していた子育てのイメージと現実の子育てが“違う”と回答する割合が高くなっています。
- 高齢初産、若年妊婦、心身の不調、多胎妊婦、未婚、外国人等妊娠早期からの健康管理やその後の育児の支援が必要な妊婦は、妊娠届出から見ると全体の約1割となっています。
- 柏市の子育て世帯の約9割が核家族世帯である一方で、祖父母等の親族と「同居している」あるいは「近くに住んでいる」割合は約6割となっています。また、子どもをみてもらえる親族や友人・知人の有無については、多くの保護者が「いる」と回答していますが、「いずれもない」と回答した割合が1割強あることから、緊急時等に困難な状況に陥る可能性がある世帯も一定数あるといえます。
- 子育てにおける心配や悩みは、性格やしつけの心配から、発達の遅れや重い病気に至るまで多岐にわたっており、解消・軽減に向けた支援の方法は一律ではなく、それぞれの状況に応じた適切な支援が求められています。
- 児童虐待の相談・対応件数の増加や、ひとり親家庭が増加していること等の現状も踏まえ、配慮が必要な子どもや家庭に対して支援を行っていく必要があります。

図表19 小さい子どもとの日常的な触れ合いやおむつ替えの経験の有無（平成25年度調査）

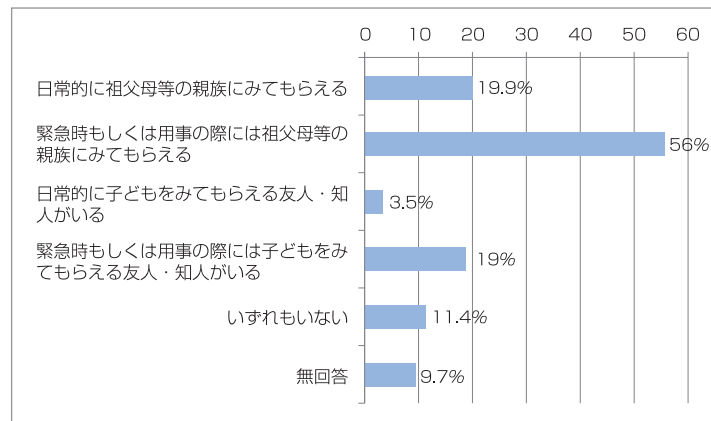
（資料）子育て支援課



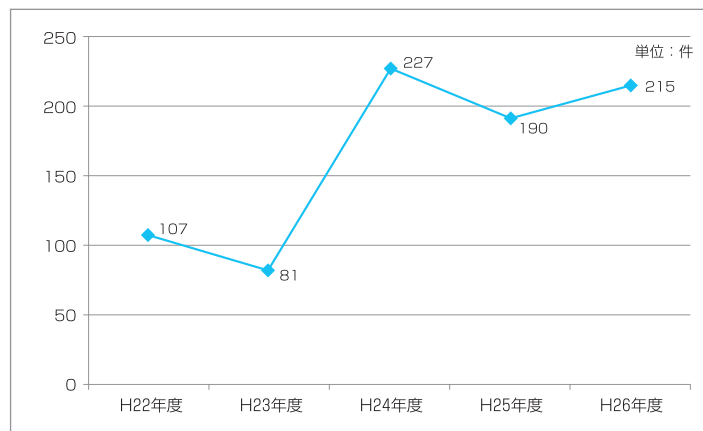
図表20 支援が必要な妊婦の数 (資料) 地域健康づくり課



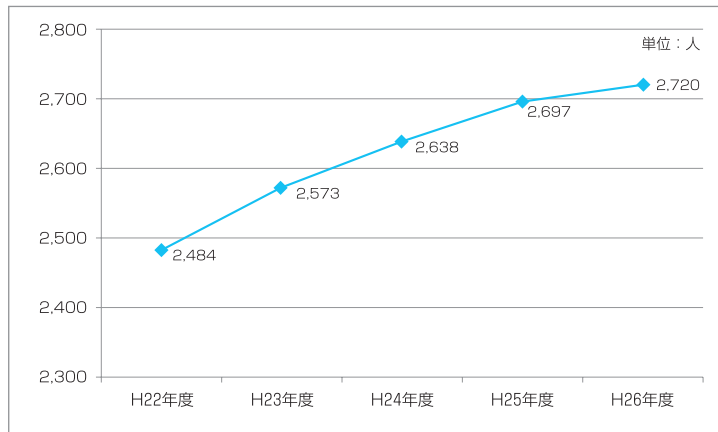
図表21 子どもをみてもらえる親族・友人・知人の有無について (平成25年度調査) (資料) 子育て支援課



図表22 児童虐待件数の推移 (資料) こども福祉課



図表23 ひとり親家庭（児童扶養手当対象者）の推移 （資料）こども福祉課



🌀 施策の実現によって目指す市の姿（施策の方針）

妊娠期から出産・育児期までの切れ目のない支援と配慮が必要な子ども・子育て家庭のそれぞれの状況に応じた支援により、喜びや生きがいを感じながら子育てをしています。

● 施策実現のため、重点的に推進する取組

1 子どもの健やかな成長支援

取組内容	保護者、妊娠している方の妊娠・出産・子育てに対する不安や負担の軽減を図るため、妊娠期から子育て期までの様々な状況に応じて切れ目のない支援体制を構築します。
重点事業 (実現手段)	1 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備（61ページ）

● その他の取組

取組名	2 子育て家庭の負担の軽減 3 配慮が必要な子ども及び子育て家庭への支援
-----	---

● 関連する部門計画

計画名	関連する取組
柏市子ども・子育て支援事業計画	1・2・3
柏市ひとり親家庭等自立促進計画	1・2・3
柏市健康増進計画	1
柏市母子保健計画	1
柏市男女共同参画推進計画	3
ノーマライゼーションかしわプラン	3

● 進捗を測る指標

取組	指標	基準値	目指す方向性	備考
1	子どもの育てにくさを感じている母親の割合	25.6% (平成27年度値)	↘	

🍷 取組1の重点事業の概要

1 妊娠から子育てまでの支援体制整備

担当課	子育て支援課，こども福祉課，保育運営課，地域健康づくり課					
事業内容	子ども及びその保護者，妊娠している方に対する教育・保育・保健その他の子育て支援の円滑な利用と，妊娠・出産・子育てに対する不安や負担の軽減を図るため，妊娠期から子育て期にわたるまでの様々な状況に応じた総合相談及び支援を実施します。					
5年間のロードマップ	活動内容	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	利用者支援事業 ⁵⁷ (基本型・特定型)	実施・ 人材育成研修	実施・ 人材育成 研修・事業 拡大	実施・ 人材育成研修	実施・ 人材育成 研修・事業 拡大	実施・ 人材育成研修
	子育て世代包括支援センター ⁵⁸ (利用者支援事業 (母子保健型))	人材育成研修	実施・ 人材育成研修	実施・ 人材育成研修	実施・ 人材育成研修	実施・ 人材育成研修
備考						

57 【利用者支援事業】(基本型)教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の利用にあたっての支援・援助，情報集約・提供，相談業務，関係機関等との連絡調整，連携体制づくりを行う事業 (特定型)基本型のうち，利用支援・援助，情報集約・提供，相談のみを行う事業 (母子保健型)保健師等の専門職が妊産婦等に対して総合的相談を行うとともに，必要に応じて支援プランの作成等を行う事業

58 【子育て世代包括支援センター】妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して総合的相談支援を提供するワンストップ拠点